次の実りのために、幼稚部のブドウ園を手入れしました。

令和３年２月２２日（月）　篠原校長

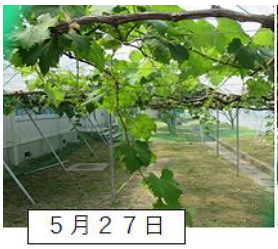
毎年、幼稚部のブドウ園を管理して栽培をしてくださっているブドウ園農家の方が、枝のせん定とビニールシート掛けに、２日間来てくださいました。２月２０日（土）の作業には、幼稚部の先生方もたくさん駆けつけてくれて、作業を手伝ってくれました。夏が過ぎ秋になって、たわわに実った美味しいブドウを食べることができるのは、たくさんの人たちの様々な丁寧なお世話があるからなのですね。みんなで感謝しましょう。

令和３年２月１９日、２０日

いつもお世話になっているぶどう園の方が来てくださいました。このような手入れがあってはじめて、美味しいぶどうを食べることができるのですね。皆さん感謝しましょう。

ぶどうの木の古い枝をせん定しています。どの枝を切るのか？専門家にしかわかりません。

ビニールシートをかぶせました。また新しい芽が出て、葉っぱがたくさん成長して、花が咲いて、実が実って、立派な美味しいブドウの房になるのでしょうね。今から、とても楽しみです。



５月２７日

６月２９日

７月２７日

絵を描いた袋

幼稚部のブドウ園で、ブドウの収穫をしました。優しく袋をもって、ブドウの枝をはさみで切りました。袋の中には、大きなブドウが入っていて、ずっしりと重かったです。

令和2年8月26日（水）